

# ～ For a comfortable life ～

お引越しの留意点と新しい住まいで知っておきたいこと ————— 1p

## 簡単！日頃のお手入れ方法

内装材 ————— 2p

- ・フローリング・階段
- ・ノンワックスフローリング
- ・クッションフロアー
- ・畳
- ・和紙畳
- ・ビニルクロス
- ・塗り壁・漆喰

内部建具 ————— 3p

- ・内装ドア
- ・襖・障子

収納 ————— 3p

- ・押入れ・クローゼット

サニタリー ————— 3p

- ・バス
- ・洗面所・トイレ
- ・キッチン

外部建具 ————— 4p

- ・窓・サッシ

外まわり ————— 4p

- ・屋根
- ・基礎
- ・外壁



URL <http://www.k-maruo.com/>

TEL 本社：(0158) 42-5228 (代) 北見Office：(0157) 66-5229 (代)

## 荷物の搬入

---

お引渡し前に室内及び室外は全てクリーニング済みです。  
ワックスが必要なフローリングをご使用の場合でも塗布してございますのでそのままご入居ください。  
また大きな荷物や家具の搬入は、玄関のドア・上がり框・床・壁コーナー・ドア開口・階段などに必ず保護カバーをしてから行ってください。

## 通気が必要なケースがあります

---

新しい住まいにはホルムアルデヒド放散量の一番少ない最上位規格のF☆☆☆☆（フォースター）の部材を使用しておりますが、搬入する家具によっては放散量が多いものもあり、刺激臭を放ったり、人によっては目や頭が痛くなったりするケースがあります。  
住まいの気密の性能が高いため、天気の良い日は通気と換気を十分に行ってください。

## 木はいつまでも生きています

---

住まいには無数の木材が使用されており、温度と湿度の関係により収縮と膨張を繰り返すことでピシッ、パシッと音を発することがあります。これらは「木」本来の特性であり、構造上の問題ではありませんのでご安心ください。

## 安全への配慮

---

- ・ 背の高い家具などは金物で固定してください（転倒防止）
- ・ 混合水栓を使うときは低温から徐々に温度を上げてください（火傷防止）
- ・ ドアの蝶番（ちょうつがい）側での手や指の挟みに注意してください（事故防止）
- ・ 乳幼児のお子様がいるお宅では階段での転倒防止に市販フェンスなどを利用してください（転倒防止）
- ・ 長く留守にするときは、配達物は止めてもらったり、ご近所にその旨を伝えるなど工夫をしてください（防犯）



# MARUO

URL <http://www.k-maruo.com/>

TEL 本社：(0158) 42-5228 (代) 北見Office：(0157) 66-5229 (代)

## 内装材

### フローリング・階段

日常は、乾いたモップや雑巾でから拭きしてください。  
から拭きによって掃除機では取りにくいホコリやゴミが取れ、床の美しいツヤを保つことができます。  
また化学モップを使う時は、ドライタイプをご使用ください。から拭きで落ちない汚れは、雑巾を濡らし、固く絞ってから拭き取ります。また中性洗剤などは汚れに応じてご使用ください。

※雑巾を絞らずに水拭きすることは、絶対に避けてください。水分による膨れが発生する場合があります。  
また中性洗剤を使用した場合は、洗剤成分をきれいに拭き取ってください。

### ノンワックスフローリング

水拭きでもお手入れ可能ですが日頃はカラ拭きを心がけてください。  
化学雑巾のウェットタイプはご使用にならないでください。床表面の軽微なすり傷やへこみ傷などは、市販されている色づけペンや補修用クレヨンなどで、目立たなくすることができます。

※電気掃除機の機種によっては傷が付く場合もありますのでご注意ください。  
※フローリングの材料は天然木でつくられており、湿気を吸収し放出する機能をもっています。  
そのため接合部（さね部）から音が発生することがあります。

### クッションフロアー

軽い汚れは雑巾などで拭けば簡単にとれます。フロア上のホコリや砂は表面を傷つける原因となりますので、水をよく絞った雑巾などできれいに拭き取ってください。  
ひどい汚れはぬるま湯で薄めた中性洗剤につけた雑巾などで拭いた後できれいに拭き取ってください。

### 畳

掃除機は畳表を傷めないように気をつけて、畳の目に沿ってやさしくかけてください。  
拭く時は、目に沿って乾拭きしてください。  
また畳の縁の汚れは、洗剤を含ませたブラシか布で叩き取りその後乾拭きします。

### 和紙畳

月に一度程度、薄めた中性洗剤を布に含ませ、固く絞ってから、畳の目に沿って軽く拭いておくと美しさが持続します。畳表は防汚加工をしておりますが、醤油、コーヒーなどの液体をこぼした場合は乾いた布で2、3分以内に拭き取ってください。また油分を含んだ汚れは、薄めた中性洗剤を布に含ませ固く絞ってから強くこすらずに拭き取ってください。軽度の凹み傷はスチームアイロンや蒸しタオルで蒸らすと数分である程度復元できます。タバコなどの焼けこげは紙ヤスリ（サンドペーパー）で焦げた部分をこすり取り、補修液を塗って補修できます。

※重いものや角張った物、キャストのついた物を置く場合は、必ず当て物をしてください。

### ビニルクロス

ホコリは時々ハタキや掃除機などで吸い取ってください。  
飲食物や調味料などの水汚れがついた場合は、きれいな水にひたして固く絞った布などで汚れを吸い取るように拭き取ります。壁紙のつなぎ目に逆らわない様に、ていねいに汚れを拭き取り、最後に乾拭きします。

※つなぎ目に水が入ると、剥がれの原因になるので注意してください。  
※室内の温度や湿度により夏季と冬季でクロスの伸び縮みがあります。

### 塗り壁・漆喰

自然塗料で表面に凹凸があり、こすったりすると色が移りやすくなっていますのでご注意ください。  
汚れがついた場合は中性洗剤で薄めた布でサッとふき取ってください。どうしても落ちない汚れがついた場合は新たに上塗りすることも可能です。

## 内部建具

---

### 内装ドア

指紋、手垢などの汚れは細繊維のお手入れ布（OA機器用、鏡用など）で乾拭きをしてください。アルコール、ベンジン、シンナー、磨き粉などで拭かないでください。

### 襖・障子

全体のほこりを掃うよう心がけてください。引き手や枠材がひどく汚れたら住宅用中性洗剤を薄め、固く絞った布で拭き、最後は乾拭きで仕上げます。

※本体表面に水分がつくと剥がれやすくなりますのでご注意ください。

## 収納

---

### 押入れ・クローゼット

時々空気の入替えが出来るように通気をしましょう。荷物を詰め込みすぎるとカビの原因になることがありますので注意が必要です。スノコを敷くなどして床上げをすると効果があります。

## サニタリー

---

### バス

湿度が高いとカビが発生し易くなります。使用後は水を拭き取り、換気を十分にしてください。また、水垢や石鹸カスなどで汚れが付着してもカビは増殖しますので、中性洗剤を含ませたスポンジでこまめに洗いましょう。鏡が白く曇りやすくなったなら、石鹸カスが残っています。洗剤で落ちない場合は研磨剤入り洗剤で擦り落としましょう。

### 洗面所・トイレ

洗面まわりの石鹸カスや手垢の汚れはクリームクレンザーで落とせます。陶器部分に黒ずみがついた場合はサンドペーパーに石鹸水をつけてこすり水洗いしてください。トイレ本体がプラスチック製の場合はやわらかい布で水拭きしてください。便器の内側や手洗器につくピンク色の汚れは、バクテリアが付着して繁殖したものです。栄養源となる汚れを付着させたままにしておくと、バクテリアの繁殖はさらに加速します。

※乾いた布やティッシュペーパーなどで拭くと傷つきの原因となります。

### キッチン

ステンレストップの場合、もらい錆が出るときがあります。クリームクレンザーでヘアラインに沿って磨いてください。人大トップの場合でもし傷がついてしまったら、目の粗いサンドペーパーでキズをなくし、順次細かいサンドペーパーやナイロンタワシで仕上げ、最後にクリームクレンザーで磨き、水拭きしてください。 ※トップコーティングしているカウンターは再塗装が必要になります。排水溝は時々パイプ掃除をしてください。また、異物や油固形などは絶対に流さないようにしてください。IHヒーターは電源を止めて安全を確認してからお手入れしてください。こびり付いた汚れはクリームクレンザーを付け、丸めた銀紙で軽く擦るとそぎ落ちます。レンジフードは必ず電源プラグを抜いてからお手入れしてください。たまった油はキッチンペーパーなどでふき取ってから各部品を中性洗剤などに30分程つけておくと汚れが落ちやすくなります。内部の羽根などは3ヶ月に1回程度ぬるま湯につけて行ってください。水栓金具は布で乾拭きします。先端部の散水板、ストレーナ、整流器などにゴミ詰まりを起こすと水ダレの原因になります。月に一度は点検しましょう。また金具の緩みにより水漏れが発生することがありますので注意してください。

## 外部建具

---

### 窓・サッシ

樹脂製品は傷つきやすい性質がありますので、レール部分に溜まった砂やゴミはすぐに取り除いてください。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。

お手入れは布やスポンジのようなやわらかいものを使用してください。

海岸に近い地域では、台風の後、水拭きや水洗いをして塩分を取り除きましょう。

## 外まわり

---

### 屋根

台風などの自然災害のあとは破損、ひび割れがないか目視出来る範囲で確認しましょう。

もし異常に気がついたらすぐにご連絡ください。

### 基礎

基礎の汚れを見つけたら、高圧洗浄機などで水をかけて落としてください。

換気口がある場合は中に水が入らないようご注意ください。

また床下に水がたまっていないか、時々点検口から中を点検しましょう。

基礎の周囲に将来大木になるような木を植えないでください。成長して根が基礎を破損させる恐れがあります。

※化粧モルタルは乾燥による収縮があるため、仕上げに細かいひびが入ることがあります。

※基礎をつくるために地盤を深く掘って工事しており、基礎周りや敷地内で土が下がる場合があります。

### 外壁

キッチンや浴室換気扇の排気口まわりの汚れはこまめにお手入れしましょう。

柔らかいブラシでホコリを落とし、住居用洗剤をお湯で薄めてスポンジにつけ壁面をこすり最後は洗剤をきれいに洗い流します。

また湿気の高い箇所などではカビやコケが発生することがあります。

カビ取り剤を薄めた液をハケやスポンジで塗り、5～10分ほど置いてから水で洗い流します。



1. このページでは、一般的な仕様・設備を中心にまとめてあります。  
また記載されている仕様・設備などは、予告無しに技術改良のため変更されることがあります。  
お客様のお住まいに該当しない場合は、それぞれに添付の「取扱説明書」をよく読んで、正しくお使いください。
2. このページでは洗剤・漂白剤・器具類などの商品名は、目安として記載しています。  
それぞれの注意書きをよく読んでお使いください。



# MARUO

URL <http://www.k-maruo.com/>

TEL 本社：(0158) 42-5228 (代) 北見Office：(0157) 66-5229 (代)